

刊夕 日二十月一

# 常磐岩 每日新聞

定額 一月五圓 三月十五圓 半年三十圓 一年六十圓

電話 五五五五 五五五五 五五五五

印刷所 常磐岩印刷株式会社

## 求めて見る

佐田至弘

◇慶びの味ひ  
自然的に移つて行く時の流れを、人間の深い意志の力によつて、新しく意義あるものに創造してゆこうとするところに、新年を迎へる喜びがあると思ふのであります。

○ 私どもは思想に於ても、生活に於ても、常に舊套を脱し、妥協を排して新しい生命の創造に向つて、努力精進するから人生の意味を深く味ふてゐるのであります。

○ 生命の新しいさを感じるものは、いつも内的の意味をもつてをりますもので外的な制度や、組織や、事象を變化させたからといふてそれを新しいものと感ずる譯にはゆかないのであります。

○ 総て内から見て、味ひを新たにしてくるところに生活の向上と生命の意義を發見することが出来るので「新年おめでとう」といふのも、人類進化の根柢に觸れた腹の底からの挨拶でないとも人のためにも自分のためにも意味をなさないのであります。

## 一生の目標

歳も新まり心境も明るくなつたが、さて私どもは人として、こんど何を目標に自分の一生を過したらいのでありませうか。儒教には「天下の本は國に在り國の本は家に在り、家の本は身に在り」守ることとい

## ハート

換氣する時は一方の窓や障子の窓を開けるもよい

子だけでなく相對する側も開ける室の都合では相隣れる窓を開けるもよい

○ れが大となす、身を守るを大と爲す——身を守るは守るの本なり」ともいふてあるので今年こそはと強く心に期するところのある、精進への心意氣を、再び檢討して見たいのであります。

○ カ一杯、よいこと正しい

○ 明日の献立  
0000000000  
0000000000

【朝】 味噌汁——さつま芋

【晝】 ハムオムレツ

【晚】 いため煮——豚肉

【おぼろ】 おひたし——ほうれん草

○ ことをするの人間道であるから、これを目標として進めば誰でも仕合せ成功が出来、生涯生活に飽くと

いふことがないのであります。よいことはすればするほど面白くもあり、世間も廣くわたれてその人は晩年になればなるほど賑はしい暮らしをたてることが出来るのであります。



## ある時

木津 茂太郎

こゝろ澄めば蒼空に溶け  
いる  
されど  
蒼空はあまりにさびし  
繪をかく少女  
見ちやあけけない  
早くあつちへいつてちや  
うだい  
寶石のやうな眼をしてい  
ふ  
お前のかいた繪を見せて  
おくれ  
さういはないでい、では  
ないか  
わたしの心をお前の繪で  
聖めておくれ  
哀 愁

○ 哀愁は何處にあるのか  
ふつとお前をおもふと  
何處からかやつてくる  
哀愁は空にあるのか

# 外科

門 專 光 X  
科 線

## 上田外科醫院

平町南町  
電話一二九番

御融通には！  
是非御利用を……  
萬事便利な御相談に應じます。

## 三井質店

平四・電六〇六番



旭硝子株式會社製品

## 板ガラス

赤菱印  
菓 子 壺  
硝子 食器  
其他各種

## 松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番)  
支工場 仙臺市榮町(電五九七番)

## 高久病院

院長 醫學士 高久 忠  
副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄  
平町田町 電話五一三番

内科小兒科  
耳鼻咽喉科  
外科花柳病科  
レントゲン科

## 鼻病、腦病 化學治療薬 ビノサン

小壹圓貳拾錢、中貳圓、大五圓  
蓄膿症其他鼻病と頭痛症神經衰弱等の諸症が簡単にして他に類の無い一日一回の服用で手軽に僅かな費用で治療の出来るビノサンが發表されました今すぐ用て劃期的快癒の喜を得て下さい  
御來店の方に鼻病説明書無代進呈此廣告  
御持參の方に一人一回試薬致します

福島縣平町白銀町五(千代メッキ店裏)  
石城郡特約店 村山書店  
販賣御希望の方特に御相談に應ず

## 磐城共濟病院

電話一六四一番  
一二四番

|       |            |
|-------|------------|
| 小兒科   | 院長 石山 謙郎   |
| 内兒科   | 副院長 五十嵐 雄二 |
| 產科    | 醫學士 有馬 勇二郎 |
| 婦人科   | 醫學士 石山 謙郎  |
| 外科    | 醫學士 石山 謙郎  |
| 皮膚性病科 | 醫學士 石山 謙郎  |
| 耳鼻咽喉科 | 醫學士 石山 謙郎  |
| X線科   | 醫學士 石山 謙郎  |
| 物理療法科 | 醫學士 石山 謙郎  |
| 藥局    | 藥劑師 石山 謙郎  |
| 衛生試驗所 | 衛生士 石山 謙郎  |

毛糸が御安くなりました  
相かわらず御用命の程を

並毛糸一オンス 十二錢五厘  
極太毛糸

中細 極細 スキー印 ダイヤ印  
アトラス ビーハイブ ホワイトヒーター

田町 ハシモトヤ糸店  
電話十四番

### 匡救事業は

## 豫定通り

### 二月に全部竣工

#### 目下極力旋行を急ぐ

既報平土木監督所管内各町  
村匡救事業は二月末迄の工  
事繰上げの爲め各町村共極  
力工事を急いで居るが川前  
鹿島の兩村は此程早くも竣  
功し此處數日中には川部内  
郷等も竣功する等郡下二十  
五ヶ町村に亘る約四十箇所  
の匡救事業は相次いで二月  
一杯迄に全部竣功する豫定  
である。

### 工藝展の

#### 出品を勧誘

平町役場では四月十四日か  
ら六月廿一日迄商工省主催  
で東京に開催される工藝展  
覽會に平町よりも多數出品  
せしめるべく本日各關係方  
面に通牒を發した。

### 平商の入學

## 定員百名と決定

平商では此程職員會を開い  
た結果例年の如く来る二月  
十九日より入學生募集を開  
始する事になったが定員は  
百名で三月二十七、二十八  
の兩日に亘り算術、國語、  
雜問の考査を行ひ二十九日  
入學許可者發表の豫定であ  
ると。

### 奉安庫の

## 工事監督

舊臘二十日一齋に地鎮祭を  
行つた平商及び第一、第二  
兩小學校の奉安庫建設工事  
は其後着々工事を進めてあ  
るが土木委員の現場監督日  
割左の如くである。

### 林野保護

#### 組合長會議

石城林野保護聯合組合は來  
る廿二日午前十時より平署  
會議室に於いて組合長會議  
を開き八年度會計の決算並  
に優良組合員の表彰に就い  
て協議會を開くと。

### 自給肥料

#### 郡農會打合

石城郡農會では縣農會の後  
援で自給肥料増殖事業獎勵  
の爲め來月四日團體事務所  
樓上に於いて郡下各町村の  
農業主任農業技術員指導實  
行委員等七十餘名の委員會  
を開き増殖事業の對策を打  
合せる。

### 組合の解散論者

## 未だに結束堅く

#### 木炭代議員會紛糾か

既報濱三郡木炭同業組合で  
は本月廿日團體事務所評  
議員會を翌廿一日には代議  
員會を開き本年度豫算其他  
を協議するが同組合は組合  
存置の反對者が未だに結束  
を固めて居るので代議員會  
には再び賛否兩派の紛糾あ  
るものと見られて居る。

### 増築落成の

## 小名濱校成績展

六萬餘圓を以て校舎増築の  
小名濱小學校では來月上旬  
盛大な落成式を舉行するが  
當日は記念として縣下各小  
學校兒童の成績品展覽會を  
催す爲め目下準備中である  
と。

### 「極東の情勢」を説く

#### 商工研究會に駒場中尉が

平商業學校商工研究會例會  
は來る十七日午後七時より  
町會議室に於て開き同校配  
層將校駒場中尉の極東の情  
勢と題する講演がある。

### 津田校長視察

平第  
二小學校校長津田達造氏は來  
る二十三日より四日間茨城  
縣下に於ける左記小學校の  
施設經營の一般及び女子青  
年團の事業等を視察に出張  
すると。

櫛形小學校及び女子青年  
團、金江津小學校、水戸  
市尋高校、湊町小學校、  
磯濱小學校、大津小學校

△鎌田町五二 當時東白河  
郡竹貫村字竹貫高橋寅治  
氏四女ヒサ子  
△白銀町二 鯨岡金之助氏  
六男昌  
△一丁目二五 栗原實氏長  
女壽美子  
△三丁目二一 星野清作氏  
二男明

### 美味!

### 芳醇!

## 宗正らひた

山崎合名會社  
電話一〇番

### 美味で!

### 評判の...

イワキ  
サロン  
電 352

飯島彌助儀病氣療養中ノ處本月十二  
日午後一時死去致候間此段謹告仕候  
追て來一月十四日午後二時自宅出棺天理教  
會墓地ニ於テ神式ヲ以テ葬儀執行可仕候  
昭和九年一月十二日

#### 福島縣平町町四七

飯島 榮子  
藤島 直助  
飯島 齋五郎  
小島 沼鋒太  
青島 清三  
友人 澤信  
總代 平山

### 藤田女學校校長飯島彌助殿

病氣療養中ノ處本月十二日午後一時  
逝去被成候間此段謹告仕候  
昭和九年一月十二日  
福島縣平町

### 藤田女學校同窓會

### 全外 小兒科 一般科

#### 醫學博士 渡部 義夫

女 醫 渡部 さ い 子  
平町田町大通り(電話二七七番)

### 渡部 外科

# 色川火力製材場の

## 反対運動愈よ擴大

### 不安に駆らる、附近住民

#### 町會の問題化?

田町色川材木店の火力製材工場建設に關しては附近住民が從來の電力を火力に變更するは色川氏個人の財政關係に基くものであるべきも火災の危険率は倍加し附近の不安は一層増大すると作業許可の反対運動が起つた事既記の如くであるが其後右反対運動は益々擴大して火の手を上げ町會に對する建白書提出と共に『平町民に訴ふ』と

題するパンフレットを一般に配附し區民の大會を開く等事態は漸く重大性を加へ更に最近に至つては附近地主が擧つて縣廳に不許可の嘆願書を提出し、また事情を知らず

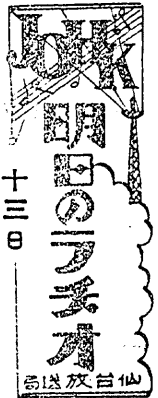
建設に同意を表した者迄が調印取消を申出する等紛糾を告げて居り明日の町會にも俄然同問題が俎上にのぼせられて論議の中心となる模様である

## 平町日用品

### 最近の値段

昨年未十二月現在に於ける平町市内の各日用品物價は左の如くである

|    |     |      |     |     |      |
|----|-----|------|-----|-----|------|
| 白米 | 上   | 二、三三 | 鯉節  | 一貫目 | 七、〇〇 |
|    | 中   | 二、二五 | 牛肉  | 百斤  | 五、〇〇 |
|    | 下   | 二、〇八 | 鶏卵  | 百個  | 三、〇〇 |
| 小麦 | 同   | 二、四〇 | 白砂糖 | 且斤  | 一、九〇 |
| 大豆 | 同   | 二、三〇 | 赤砂糖 | 同   | 一、六〇 |
| 小豆 | 同   | 二、三〇 | 綠綿  | 同   | 五、〇〇 |
| 清酒 | 同   | 一、〇〇 | 晒木綿 | 一反  | 五、〇〇 |
| 醤油 | 同   | 一、〇〇 | 麻   | 百斤  | 六、九〇 |
| 味噌 | 一貫目 | 五、〇〇 | 洋釘  | 同   | 一、〇〇 |
| 茶  | 百斤  | 五、〇〇 | 松角材 | 一本  | 一、〇〇 |
|    |     |      | 杉角材 | 同   | 一、〇〇 |
|    |     |      | 樺角材 | 同   | 三、〇〇 |
|    |     |      | 縦角材 | 同   | 九、五〇 |



明日のラジオ  
今夜は北西の風曇  
氣味明日は北西の  
風天氣良くなる

### 今晚の部

後六、〇〇 子供の世間  
お話「冬の寫真」添田嘉  
一  
後六、三〇 二兄放送東西  
對局將棋大手合(第十一  
日)  
後七、三〇 講演「國民精

### 鐵骨火見落成

好問村消防組では昨年中同組頭叶多清氏の寄附により同村地内に工費五百圓で鐵骨火の見櫓を建設中であつたが去る七日竣功したので明日午後一時より役場内で竣功式を舉行すると

### 平商警中稽古

既報來る二十三日より十日間の豫定で寒稽古を行ふ筈であつた平商武道部では都合に依り十六日に繰上げる事になつたが警中武道部では昨日放課後より開始した

## 十數年前の

### 捨子を探す

#### 該當者がなく

#### 平署大弱り

水戸市下市水川町五七六大島清華妻フトさんは十數年前平町へ惣吉(六)好子(四)の子供達を捨子して水戸市

### 明日の部

前七、〇〇 基礎獨語講座  
(三)橋本忠夫  
前九、一〇 料理献立「コ  
ロツケクルベツト」朗倉  
長吉  
前一〇、三〇 家庭講座  
「お正月の童戯」海老原若  
人  
後〇、〇五 箏曳 大久保  
雄龍外  
後二、〇〇 家庭講座「武  
道と少年」醫學博士安田  
三郎治  
後三、三〇 春場所大角力  
實況(二日目)國技館より  
係官も狐につまづた様に弱  
つて居る

## 保險思想普及に

### 「輝く門出」を推薦

平郵便局では昨日より平館に上映された簡易保陽局原作文部省推薦の映畫「輝く門出」を一般に觀覽せしめ保險思想普及に努めんと各戸に割引優待券を配布した期間は十九日迄であると

昨年九月十六日内郷村大字宮字蛭子六五澁谷鶴松方同居人飯島要の銀側腕時計一ヶ及びズボン、バンド、西洋カミソリ、ハイモニカ等全計七圓餘分を窃取した事件は昨日午後一時より平區才判所に於て香西判事係り清田檢事立會の下に公判開廷事實訊問の上判事より檢事の求刑り即決懲役一年を言渡された

## 金馬簾を

### 小名濱組に

小名濱消防組では昨年中全員協力して貯水池並に小學校庭の修繕撤水自動車設置及び警部補派出所駐在所等の電話架設事業に盡力した功に依り去る十日付を以つて渡警察部長より金馬簾二條を授與された

## 裁判所だより

△下小川村大字柴原字桐ヶ岡五七坑夫鈴木兼義(三)が

### 中繼

後五、三五 受驗講座「漢文」黒羽英男  
後六、〇〇 子供の時間  
ハ！モニカ合奏 軍隊行  
進曲外三曲宮田ハ！モニ  
カバンド指揮宮田東峰  
後六、三〇 二元放送東西  
對局將棋大手合(第十二  
日)  
後七、三〇 時事解説  
後八、〇〇 歌舞伎劇坂東  
壽三郎一座  
後八、五〇 浪花節「大岡  
政談」鍵屋騷動吉川秋水  
後九、〇五 長唄「五條橋」  
里千代小萩外

## 科人婦科外 院醫坂井

町田町平  
番九五五話電

## 耳鼻咽喉科専門 大和田醫院

平町南町  
電一〇七

# 銘劍秘笈

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演  
山本英春 畫

第三百十回

徳川家に崇る村正

斬つた枝から悲鳴

溝口五左衛門、差裏差表  
ぼう子先から鏝際まで打返  
し、見てゐたが

五「七兵衛、成程之は銘刀  
だ、又相模鍛冶にも相違な  
いが、貞宗ではないよ」

七「逃ひますか」

五「貞宗は正宗十哲の内  
も温厚の人で特に正宗に見  
立てられ婿になつた人だと  
いふ事を聞いてゐる、シテ  
見れば焼刃に斯う殺氣のあ  
る氣支ひはない、之は誰か  
名ある鍛冶の鍛へた物には  
相違ないが貞宗ではない」

七「どうも恐れ入りました  
な、實は正宗だと先様では  
仰しやいましたが、私の了  
簡で、正宗ではなからう、  
貞宗位の處ぢやアなからう  
かと考へましたので」

五「怪しからん事を申す奴  
だ、五十兩は高いぞ、三十  
兩位に負けて置け」

七「因りましたな、三十兩  
ではどうも困りますので」  
五「夫ではもう五兩も買上  
げやうか」  
七「何だか立聞きをされた  
やうだな」  
五「ナニツ」  
七「イエエ手前の事如  
ございませう、私方で五十

兩、殿様の方で三十兩と仰  
しやるのですから、其の間  
を取りまして四十兩にして  
置かうぢやアありませんか  
五「さうだな兎に角此の刀  
は氣に入つた」  
七「有難うございます」  
五「待て、手を出すな、



れたが、大分氣に入つたや  
うだから買れる物なら二三  
日は仕方がないだらう對手  
は天下の旗本、まさかにも  
ち逃げをする氣づかひもな  
からう、さう思つたから  
七「へへへ宜しうござい  
ます、外様でございません  
から、さういふ事ならお預  
け致して参ります」  
五「左様かそれは喜びだ、  
一兩日経つて来て呉れ」  
七「畏まりました」

七兵衛は世辭を云つて歸  
つて了ふ。五左衛門も村正  
とは知らないが銘刀と見た  
から欲しくつて仕様がな  
然し此の處色々散財が續い  
ない、失禮」

五「ア、よい心持だ、花時  
と違つて往來などは一人も  
居らん、風にふかれて歩く  
には宜いな」  
白髯から三圍の處へ掛つ  
て來ると、櫻の大樹の枝が  
ヌイツと往來の方へ出てゐ  
る、何を思つたか五左衛門  
ギラリ村正を引抜くと、サ  
ツと其枝を切落した、途端  
にキヤツと木の下で聲を揚  
げたと思ふとポイントと風呂  
敷包みを五左衛門へ投げつ  
けて置いて、バラ、逃出  
した男がある。

じだと、ニコ、笑ひなが  
ら刀を抜いてながめてゐる  
處へ、親友の武道金助が取  
次も待たずにズカ、入つ  
て來た  
五「イヤ、之は武藤ようこ  
そ」  
金「溝口、何をしてゐるの  
だ」  
五「ナニ只今銘刀を求めた  
處だ」  
金「夫れは、ドレ拜見  
をしよう」  
五「ドツカリそれへ座つて五  
左衛門が鞘に納めて出した  
刀を受取り  
金「大分糸や何か手摺れて  
はゐるが、こしらへも悪く  
ない、失禮」

て手許にその金がない、何  
とかして之を求めたいもの  
だ、親類へ行つて借りるか  
蔵前の札差し伊勢屋へ行つ  
て、玉落ちの先借りをする  
か、何れにしても四五兩  
の算段は附、テ見れば先  
づ此の刀は手に入つたも

氣に入つたか、まだ買ふと  
は云はん、どうだ一兩日考  
へさして呉れ、此の刀を預  
かつて置いて、尙能く鑑定  
をして見たい」  
七「ハア、左様で……」  
七兵衛考へた即金で貰へ  
ると思つたのが少々當は外

一冊の代金で  
御希望通りな  
五冊の雑誌が  
自由に讀める  
川崎文庫  
電六三〇番  
(申込次第規則書進呈)

米國製刺皮病良藥  
レメドール  
ヒビ、シモヤケ、ハタケ  
ヤケド、キリキズ、タム

子宮病、根切藥、下腹や  
腰の痛みをなほす事妙な  
宮 温 湯  
丹波博士創製セキドメ

たんばあめ  
うまくてセキがヨクトマ  
ユビハレ、ヤケド、キリ  
キズ、淋病、梅毒、乳ハ  
レ、すべて化膿したもの  
を切らずに癒る

靈藥ムテキ  
平町古鍛冶町一〇  
阿 康 藥 舗  
縣社ノ下 電話四四番

日本に唯一つ  
魂の這入つた  
東京工場  
聯盟の自轉車  
指定販賣所 フタバ商會  
平新川町・橋際

## 市原醫院

平町田町(電話二二四番)  
内科 小兒科 市原卯太郎  
外科 一般、婦人科 市原陸郎  
外科 梅毒、淋病 市原三三男  
入院隨時

## 中村齒科醫院

平町 鍛冶町 七